

新型コロナウイルス特別措置法に基づく緊急事態宣言の解除後も、感染防止に向けた「新しい生活様式」として外出時のマスク着用が推奨される。玉野高の生徒が現状のマスクの問題点を解決するオリジナルマスクの試作に取り組み、素材や形を工夫したマスクが次々生まれている。

(松山定道)

工夫凝らし マスク試作

玉野高生 コロナ休校中 課題で挑戦



お互いに持ち寄ったマスクを見る生徒たち

臨時休校中の物理・生には、面ファスナーで保護面のような形とし、物の課題として2、3年大きさを調節できるよ 目には暗記用の赤いフィ生の理系選択者39人がうにし、耳が痛くなる ルターをはめ込むことで挑戦し、14日の登校日まのは幅の広い平ゴムを 学習にも役立てようといでに32人が提出した。問 使って圧力を分散させ う、受験生らしいユニー題点とその解決法を記 して緩和。それぞれの視 点で知恵を絞っていいもあつた。したワークシートと試作 品がセットで、顔に合うる。眼鏡と一体化させると 涼しそうな金魚と話す。

柄、肌に触れる部分は 呼ばれる。その推進は 接触冷感素材にした3 2019年4月の中央 年佐藤遥香さん(17)は 教育審議会への諮問 「マスクを外すときに や、同年5月の教育再 眼鏡が引っ掛かるのが 生実行会議の提言に盛 嫌だった。着けるとひ り込まれるなど、わが 国でも関心が高まって 出掛けにいいのでは」 いる。

冷感素材や大きさ調節



暗記にも使えるマスク（左下）や接触冷感素材を使った夏向きのマスク（右上）

こうした各教科での「今だからできる課題。 学習を、実社会での課 危機感からか、予想以 題解決に生かしていく 上に生徒はよく考え、 ための教科横断的な教 面白いマスクが集まっ 育は、科学、技術、工 だ。社会に出たとき、 学、アート、数学の英 経験を生かせる教育を 語の頭文字を取って 今後も工夫したい」と 「STEAM教育」と話した。

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。